

# Book Review

## DVD 術者の視野で見るインプラント治療 2 Immediate Loading 下顎無歯顎

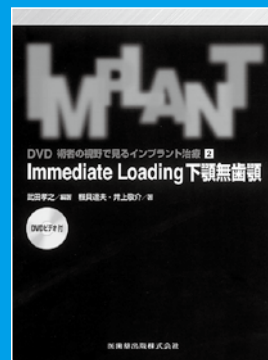
武田孝之 編著  
椎貝達夫・井上敬介 著

Reviewer

小柳圭司

(大阪市・小柳歯科)

A4 判変, 112 頁  
定価 13,650 円  
(本体 13,000 円+税 5%)  
医歯薬出版刊



「あこがれ」は誰しも一つはあって、少しでも近づきたい思いで、勉強もし努力する。私たち歯科医師にとっても、いくつになっても大切なものだと思う。私が大学の補綴学教室に残った頃、支台歯形成の大家がおられた。あこがれ手本とし、まねをしようとその先生の治療をよく見学した。そのイメージは頭の中にずっとあるのだが、いまだにその形成は自分のなかで完成していない。

本書の編著者である武田孝之先生との出会いは、かれこれ 15 年前になるかと思う。先生の歯科医師としての患者さんへの接し方や臨床に対する考え方、また臨床手腕に対して私はいつも感服し頭が上がらない。一度先生のインプラント埋入手術を見学したことがあったが、それは見事なものであった。けっこうな時間がかかろうかと思う手術を、完璧にあつという間に終わられた、きれいな手術であった。先生にあこがれ手本とし、そのイメージもまた頭の中にずっと持ち続けているのではあるが、自分の勉強努力不足か、残念ではあるが自分の臨床ではいまだに実践できていない。

先生方は、あこがれ手本とするイン

プラント治療というものをおもちであろうか。ぜひとも、何か一つもってほしい。大学でのインプラント教育がままならない現在、比べようもないだろうが、インプラント治療の第一人者による実践を、術者と同じ視点と視野でインプラント治療の基本臨床術式を伝達する目的で企画された「DVD 術者の視野で見るインプラント治療シリーズ」を手にとりいただき、先生方のインプラント治療の手本にぜひ加えていただきたい。

さて今回、そのシリーズ第二弾として『Immediate Loading 下顎無歯顎』が上梓された。

本書は 4 章にわかれており、第 1 章では「下顎無歯顎症例の治療原則」について、治療方針の決定に必要な診査診断からメンテナンスまでを多数の具体的な症例により示され、きめ細かに整理されている。

第 2 章では、「即時荷重の実際/インプラントブリッジ」と題して、即時荷重に必要な診査診断からサージカルガイドを利用した埋入手技、プロビジョナルの作製、最終補綴、メンテナンスと丁寧に述べられている。特に即時荷重時に重要となるプロビジョナルの作製では、歯科技工士への情報提

供が詳しく述べられ、たいへん参考になる。

第 3 章では「オーバードンチャーの維持装置の選択と治療手順」について、維持装置の選択基準、インプラントの配置について詳しく述べられている。下顎無歯顎治療の第一選択として世界的にもコンセンサスが得られた治療方法であり、高齢社会を迎え、ますます必要とされるであろう。また今後、維持装置として主流と目されるロケーターについて詳しく紹介されているので参考にされたい。

第 4 章では「コンピュータ主導型のインプラント治療」と題して CT および解析ソフトを活用し埋入ポジションの設計からサージカルガイドの作製、上部構造の作製まで規格化されたインプラント治療が詳しく紹介されている。CT の導入は、何よりインプラント治療における診断から埋入後の評価に客観性をもたらした。それが臨床の場では安全で確実なインプラント治療につながり、また学術的にも今後大いに貢献し研究、教育がさらに進むであろう。

本書は、私の新しい手本となった。現在少しでも近づこうと勉強努力中である。